

New
 創業研究
 バイオマーカー 解析受託

アルフレッサ ファーマ株式会社

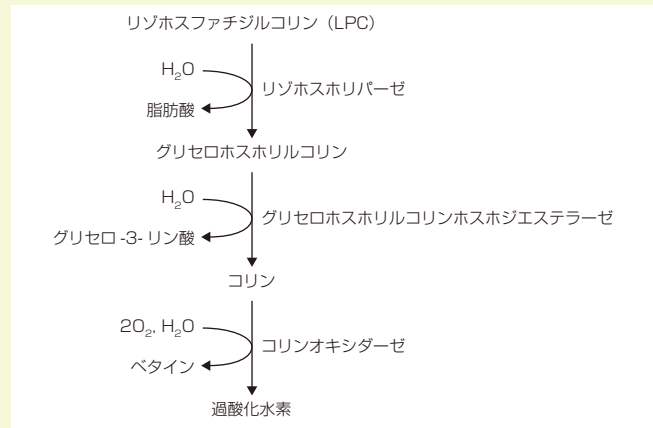
各種物質の測定や活性評価を承ります

生体試料分析受託サービス

ヒト血液や尿などの生体試料に含まれる各種物質の測定や活性の測定・評価を行うアルフレッサ ファーマ株式会社の受託サービスです。主に生活習慣病関連のバイオマーカーの受託検査を行っています。

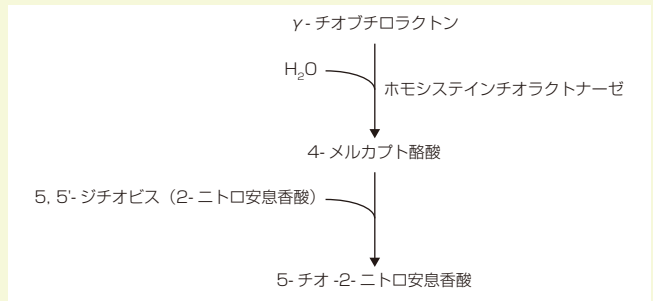
- ※本サービスは研究用です。臨床用途には利用できません。
- ※価格・ご注文方法などの詳細については、当社受託・特注品業務担当（欄外参照）までお問い合わせ下さい。

リゾホスファチジルコリンの測定原理



試料中のリゾホスファチジルコリン (LPC) はリゾホスホリパーゼによってグリセロホスホコリンに分解されます。生じたグリセロホスホコリンはグリセロホスホリルコリンホスホジエステラーゼによってさらにコリンに分解されます。コリンはコリンオキシダーゼによって酸化され、過酸化水素を発生します。この過酸化水素を、ペルオキシダーゼの存在下で 4-アミノアンチピリンとトリンダー試薬との酸化縮合反応を利用して比色定量します。

ホモシステインチオラクトナーゼ活性の測定原理



試料中のホモシステインチオラクトナーゼ (HTLase) は、γ-チオブチロラクトンを加水分解し、4-メルカプト酪酸を生成します。この 4-メルカプト酪酸に 5,5'-ジチオビス (2-ニトロ安息香酸) を反応させ、生じる 5-チオ-2-ニトロ安息香酸の生成速度を測定することにより HTLase 活性値を算出します。

目的・適用例	測定項目・対象因子	試料	測定方法	詳細
動脈硬化	総ホモシステイン	血清, 血漿*1	酵素法	アミノ酸の一種で、動脈硬化性疾患の独立したリスクファクターとして報告されています。
動脈硬化	リゾホスファチジルコリン	血清, 血漿	酵素法	酸化 LDL の主要成分の一つと言われており、肝疾患や敗血症で低値になるという報告があります。
動脈硬化	血小板活性化因子アセチルヒドロラーゼ活性	血清, 血漿	比色法	血小板活性化因子の分解酵素で、動脈硬化との関連性が示唆されています。Lp-PLA ₂ とも呼ばれています。
動脈硬化	ホモシステインチオラクトナーゼ活性	血清	比色法	HDL 上に存在するパラオキシナーゼの活性の一種で、抗動脈硬化作用との関係が注目されています。
New 基礎研究	スフィンゴミエリン	血清, 血漿	酵素法	血液中に多く存在し、細胞膜の重要な構成成分でもあります。冠動脈性疾患患者で血漿 SM レベルが高くなるという報告があります。
New 基礎研究	遊離コリン	血漿*2	酵素法	PC や LPC, SM などのリン脂質や、神経伝達物質であるアセチルコリンなど様々な化合物の構成成分です。
New 肝疾患	オートタキシン活性	血清	コリン測定法	メラノーマ細胞から分泌される細胞遊走因子として発見され、その後、リゾホスファチジン酸 (LPA) を産生することが見いだされました。
消化器疾患, 大腸癌	便中ラクトフェリン	便*3	金コロイド凝集法	炎症性の消化器疾患や大腸癌で高値になることが報告されています。
大腸癌	尿中ジアセチルスベルミン	尿*4	金コロイド凝集法	ポリアミンの一種で、癌患者、特に大腸癌患者では早期に高い陽性率を示すことが報告されています。

- * 1 マウス試料での測定も可能です。詳細はお問い合わせ下さい。
- * 2 必ず EDTA 処理された血漿をご用意下さい。
- * 3 試料は専用の容器にてご提出下さい。詳細はお問い合わせ下さい。
- * 4 イヌ試料での測定も可能です。詳細はお問い合わせ下さい。